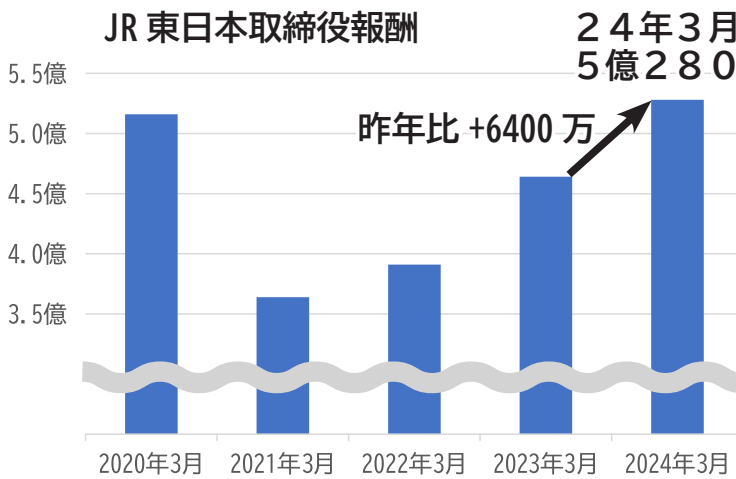


ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

24年3月期 取締役報酬5億2800万

JR東年末「2.8ヶ月+0.1ヶ月」 手当回答



一時金はいまだコロナ前を下回ったまま

年度	夏	年末	合計
2019年度	2.91ヶ月	3.18ヶ月	6.09ヶ月
2024年度	2.7ヶ月	2.9ヶ月	5.6ヶ月

海外では激しい物価高に対し、大規模なストライキが次々に闘われています。アメリカ・ボーイング労組は7週間にわたるストを闘い、38%の賃上げや1・2万ドル一時金などをかち取りました。港湾労組・ILAは1977年以来の大規模ストで6年間で60%の賃上げをかちとっています。

会社の攻撃を打ち破る力も、賃上げをかちとる力も、職場の団結と闘う労働組合にあります。

金再回答は当然の要求です。

3ヶ月ぶりにプラスとなりましたが、続いたのはわずか2ヶ月。8月以降は再びマイナスです。大幅賃上げ・一時金再回答は当然の要求です。

他方で、取締役報酬は昨年比6400万円増の5億2800万円です。

現場には大幅賃下げや業務融合化・統括センター化、ジョブローテーション強化配転などを強制しながら、取締役報酬に5億円などとも許せません。

物価はどんどん上がっています。今年はコメが49年ぶりの高騰となり、その他の商品も幅広く値上がりが続いています。

実質賃金は一時金の影響で6月に2年

11月12日、JR東日本は24年度の年末手当について「2・8ヶ月分+0・1ヶ月分+2・9ヶ月分」と回答しました。支払日は12月3日（火）としています。

一時金はコロナ前から減額のまま

会社は「昨年の2・65ヶ月+5万円からは増額」といっていますが、コロナ前は19年からはいまだに大きく減額されたままです。最低でも、「3・4ヶ月」でなければ事実上の賃下げです。

闘う労働組合の力で賃上げを